

AOYAMA OIKOS NOMOS



青山学院大学経済学部同窓会会報

2002. 5.15 第5号

「経済活動がつくり出したもの、見失ったもの」…生命・幸福追求と社会保障…

(2001.12.5幹事会での講演要旨)

経済学部 本間照光 教授



本間照光教授—略歴—

1948年 北海道に生まれる。
 1971年 小樽商科大学卒業
 札幌の北海学園大学経済学部教授を経て
 1997年より 経済学部教授
 (担当科目 社会保障論)
 所属学会 社会政策学会、日本保険学会
 賀川豊彦学会(理事)

主要研究書

『社会科学としての保険論』
 汐文社、1983年。
 『保険の社会学—医療、くらし、原発、
 戦争—』勁草書房、1992年。
 『団体定期保険と企業社会』
 日本経済評論社、1997年。

Ⅰ. 2001年夏におけるいくつかの日本や世界での社会・政治問題(新宿雑居ビル火災、狂牛病、アメリカにおける同時多発テロなど)をみると、これらは全て世の中のおおもとである経済問題をめぐるものである。即ち、一人一人の生命よりも経済的競争による勝利を重視した結果生じてきた問題といえよう。ここに生命追求と経済活動の矛盾が露呈してきたのである。換言すれば、経済活動によって生命維持の土台・基盤を支えていくことが、同時に、生命活動への脅威の増大となってしまっているのである。

Ⅱ. そこで、人間の真の豊かさを示す言葉「福祉」について語源的に考えてみよう。英語では Welfareといい、fareがwellであることを示している。「食物が豊富であること」や「料金が適正」であることが身近な例としては

学講義』(1762~1764)の中で、当時のオランダ人の例をあげて、「商業(commerce:取引交換)」の導入が「正直」や「時間厳守」という徳性をもたらすといっている。ここで、スミスは、フェア・プレイ(fair play)としての経済活動によってこそ、人々の生命・自由・幸福の追求は保証されるのだといっているのである。スミスは、なにをやってもよいというような「自由放任主義」を唱えた訳ではないのである。相手を騙しながら儲けるのではなく、お互いの間の誠実な経済取引を通じての信用の形成によって相互に支え合うことが重要なのである。

Ⅲ. たしかに、商品経済の下での等価交換の法則の貫徹によって資本主義経済はうまく運行していくように見えるが、しかし、それによって見過される、社会的正義にも関わる一人一人の生存権への脅威が存在しているのも事実である。バブルの宴の崩壊の現在、資本主義的経済をスミスのフェア・プレイの精神でコントロールしていく必要があるのではないか。

Ⅳ. そして、我々の最低限の認識として、人間も自然の一部であるという「人間的自然」(human nature)の自覚に立脚して、合理的利益追求の主体としての「経済人」(homo economicus)の一面性を批判的にみていくことが、現在、必須である。経済学の節度・限界を把握しながら、経済学という学問を探究していくことが重要なのである。このような考え方に立ってみると、市場経済と国家経済を媒介している「社会経済」(social economy)という考え方が重視されるであろう。そして「社会福祉」(social welfare)についても、以下のことを考えることが大切であろう。即ち、社会福祉が経済の足枷となってしまうものなのか、とれども経済を支えるものなのか、又、経済が倒れてからの福祉なのか、経済が倒れる前の福祉なのかという問題である。いずれにせよ、我々の社会は協力して共同で支え合う必要があり、その場合に、経済学の創立者、アダム・スミスがいったフェア・プレイの精神(virtue of fair play)が出発点となるのである。

あげられるが、その一般的な意味は「人々の生活状態が良好であること」である。このような人々の生活状態が良いことや一人一人のライフを支えているのは市民社会とともに発展してきた商品経済である。この商品経済の仕組みを最初に原理的に解明したアダム・スミス(1723~1790)は、主著『国富論』(1776)に先立つ『グラスゴウ大



2001.12.5 平成13年度幹事会風景……アイビーホール青学会館にて

経済学部同窓会会員は今……

「現況、力をいれていること」

小島英昭 (1963.3 経済学科卒 久武・榎本ゼミ 奈良県在住)



大和吉野地方の四季の彩りは、誠に変化に富み飽きることがありません。私は奈良県の面積の70%を占める山岳地域、吉野郡3町10村の人口、大淀町に夫婦だけで住んでおります。テーマの「現況、力をいれていること」は二つあります。一つ目は、6年目を迎える社会保険労務士業です。二つ目は、体内にエネルギーを生み出すための心眼の活動です。前者は、労働基準法と労働保険法、社会保険法に基づく提出書類の

作成代行と賃金体系、昇進昇格制度の策定、考課者訓練等の労務管理指導業務に力を入れています。労使とも理解に欠けている傾向が強いのので厚生労働省モニターとして、この分野の知識は中学時代から始めるべきと投稿しました。2月19日朝日新聞の声の欄で大学教員の投稿を読みました「バイトをしている娘達と議論した、労基法の知識は殆ど皆無、高校時代に教えるべきだ」の内容に力を得ました。知事より委嘱の「中小企業労働相談員」も5年目の更新を迎えます。県地方労働委員会の「あっせん」制度も活用して迅速な労働個別紛争の解決の促進に全力を尽くします。中災防協会RST(労働安全指導員)支部長の責務も負っております。二つ目は、歴史考古学の分野の探索です。飛鳥時代(6世紀末から7世紀前半まで)、この時代に3人の女性が国のリーダーとして活躍しました。推古天皇「聖徳太子を摂政として冠位12階の制定、17条憲法の発布など治績を挙げた」。斉明天皇「百済救援のため筑紫の朝倉宮に移り崩御された」。持統天皇「夫の天武天皇が編纂を開始した飛鳥浄御原律令(官人組織を整備、個人身支配を徹底するための律令)の施行、後の大宝律令の基礎となりました」。持統の藤原宮跡で「春過ぎて夏来るらし白たへの衣干したり天の香具山」を心で拝聴しています。なお明日香村に万葉文化館がオープンし好評です。

「ブラックホールとストレス発散」

林 実 (1973.3 経済学科卒 千葉県在住)



振り返ると卒業前の就職活動は厳しく、ニクソクショック、オイルショックの影響により指定制を引かれ、会社訪問も門前払いという悔しい思いをしたことを鮮烈に思い出します。

現在の環境を見れば、昨年今年は30年前と同様就職活動が非常に厳しい状況にあり、就職活動の後輩達には同情せざるをえません。小生の場合、運良く大銀行に就職出来ましたが、早くも第二の職場を探す時期になり再びこのような廻り合わせになるとは思いもありませんでした。

入社以来銀行業務全般と証券業務全般(従来の銀行業務から時代の先端を行く、ファンド運営、株式公開支援・コンサルティング、投資信託販売準備等の各分野)を略半々担当したのですが、この様なものは非常に珍しく、銀行には貴重な経験を積ませて頂いたと本心喜んで居る次第です。

しかし皆様もご承知の通り、銀行員は只でさえ負荷が高いのに昨今の騒々しい状況にストレスは非常に溜っており、発散には特に注力せざるを得ない状況に陥って居ます。只、発散するためにまずは、宇宙のブラックホールと同様、吸収してからプラズマを出すことが肝心と、何事も忘れて集中できる趣味を出来るだけ多く持つことが最高の気分転換になると気付き、スポーツ以外に天体観測や講演会参加、古典音楽鑑賞(オペラコンサートや研究会の開催、ピアノ、雅楽)、バラの栽培等妻の趣味を通じた友人達と話し合うことを楽しみに、いろいろなものに染まることに致しました。

余談ですが、成果の一つとして披露申し上げると国立天文台がハワイのマウナケア山頂に設置した世界一の赤外線望遠鏡「すばる」の名付け親の一人となりました。

自分が成長を続けるためには、様々な角度から全てを吸収し強烈な発散を行うブラックホールの様でありたいと願っています。

「青学大硬式野球部があり今日がある」

松田節男 (1970.3 経済学科卒 東京都在住)

青山学院大学・経済学部を卒業してから早いもので33年が過ぎようとしていますが、学生時代は野球が主で勉強が従と言う状態でした。

私は都内の当時無名校(攻玉社)から本学院に入学したというよりも入れて頂いた口だと思っております。

昭和41年に入学。その頃の硬式野球部は東都大学野球連盟の2部リーグに所属しておりました。2部では優勝はするが、なかなか1部昇格が出来ないチームでした。

しかし、一般学生には経験出来ない充実した学生生活を送ることが出来ました。

試験の準備の為、年明けから綱島の総合グラウンドの野球部寮(掘立て小屋)に集められ、午前中は練習、午後は勉強という日が1ヶ月続き、そのまま寮活に入ってしまった。

野球を高校より始めた関係でパワーはあったと思いますが、大変粗削りな選手でしたが、故近藤監督が最初は良く我慢して使ってもらったと感謝しております。

3年生の時にレギュラーを期待されながら、1年間をケガでシーズンを棒に振る結果となり、一般学生と同じ生活をし、新しい友人が出来ました。

ケガのお陰で野球に対する考え方、将来について考える時間が有り、自分にとっては大変有意義な1年間でした。

4年生の時は、将来を考え、野球は大学でやめ、就職を考えて、春のシーズンを迎えることになりました。

力みの無い春のシーズンは面白いように打つことが出来、レギュラーポジションを取ることが出来、2部で優勝することも出来ました。

同時に一般就職を考えていましたが東芝でお誘いを受けて、今現在迄お世話になっている次第です。

これからも青山学院大学を愛し、硬式野球部を愛したいと思っており、出来るだけ支援したいと思っております。

「これから、これから」

町田 侑 (1952.3 商学科卒 東京都在住)



第1回生として青山学院大学を卒業し、今年が丁度50年になります。

50年を振り返ると、青学ライフは、私にとり、まっしぐらに軍国主義の道を通り走り、戦争に呑みこまれ、あげくは敗戦という悲劇の直後の入学から、先の見えない時代の6年間でした。

それでも社会人の原点として、楽しく、豊かなものとして、今でも青学時代は心に染み込んでいます。心の故郷です。

ただ、こんな感慨にふけられるようになったのは、歳を重ね、改めて自分の来し方を凝縮しノスタルジアにかられてのことと思います。

振り返り、青学の恵みを思うとき、まず一番には神に近づいたことです。在学中は神のことなど全く関心がありませんでしたが、信仰教育も訓練も受けず、70歳近くになり背中をそっと押されるように、青学出身の牧師から洗礼を授けられました。なんて受洗したのか確かなことは分かりません。

ただ、6年間キリスト教の霧の中を歩いていたら気づかずして体が霧で濡っていたのかも知れません。その事により、力んで生きてきた私の肩からすっと力が抜け、反省をこめ、これからの生きるべき道がほんのりと分ったようです。

また、私のいたらないところをカバーし続けてくれている伴侶を得たことです。故大木金次郎院長のご媒酌によるものです。

その先生から卒業のとき、「鶏口となるも、牛後となるなかれ」とのお言葉を頂き、不安定な時代のためだったのか、一人旅で自己責任を負いながら社会へと飛び出しました。それ以来、卒業後サラリーマンになることなく、盛衰と転業を重ねながら生涯青春を心掛け、ビジョン、ベンチャー、ピクトリーの「3V」の道をよろけながら、今を走りつづけています。

ますます元気、今を生きる！

3・31 中田 宏 横浜市長誕生

「第9回青山学院大学同窓祭に向けて」

河野輝之 (1979.3 経済学科卒 東京都在住)



本年9月23日(秋分の日)第9回となります「青山学院大学同窓祭」が開催されます。この同窓祭は校友の皆様方相互の交流を深くし、青山学院の発展に寄与することを目的とし卒業生の運営によるものです。若輩の私が今回副実行委員長という高いところを担当させていただくことになり、緊張と不安でいっぱいでありました。岸本実行委員長をはじめ、各担当委員の皆様とともに努力し楽しんで活動していきたいと思っております。今の段階ではまだ決まっていない

事が多くありますが、今回の目玉の一つに「チャペルコンサート」の開催を予定しています。これは、第1回から数回行っていましたが、会場の問題等で見合わせておりました。ガウチャー記念礼拝堂(青山キャンパス大学礼拝堂跡地)も完成し今回開催することになりました。オルガニスト、グリーンハーモニー、コールフロッシュ(コーラス)、オーケストラ(弦楽合奏)によるクラシック系のコンサートになる予定です。校友の皆様方がまだガウチャー記念礼拝堂をご覧になっていない方や、お友達をお誘いの上素晴らしい演奏をお聞きいただければ幸いです。経済学部は昨年メインイベントを担当させていただき大成功をおさめました。今回はまだ担当が決まっておりませんが、皆様方のご協力とご理解をお願い致します。

将来この「青山学院大学同窓祭」も幼稚園から大学までの校友によるオール青山祭(仮称)に発展させたいという諸先輩方のご意見もあり、実現されれば青山学院の中でも一大イベントとなります。青山ファミリーの絆がますます深まるイベントとして実現されることを望みます。最後に、創設よりご苦勞されている室伏幹事長より今回投稿のご依頼をいただいた事に感謝するとともに、「経済学部同窓会」の益々の発展をお祈り申し上げます。

「ふるさと教育」

米谷恒洋 (1962.3 商学科卒 石川県在住)

卒業して40年。周囲にはリタイアして、悠々自適を決め込む友人も増えるなかで、幸いというか不幸というか、未だ現役を続行しています。過去には想像もできなかった厳しい金融機関を取り巻く環境の中、連日悪戦苦闘している今日この頃です。2年前から、金沢経済同友会の副代表幹事に就任、地域経済、地域社会の発展に、微力ながら尽くしております。現在、最も力を入れていることは「ふるさと教育」の推進であります。石川県、金沢市という都市の歴史、伝統、文化を学ぶことによって、この土地に住む喜び、誇りを、域外に発信しようという試みであります。昨年、ふるさと読本「石川県ってこんなところ」を発刊したところ、当初予想をはるかに超える12,000冊がすでに発売されております。また、金沢市内の高等学校のカリキュラムに、「金沢学」を導入する一方、一般社会人向けに「金沢経済塾」も開校しております。こうした活動に、今年は大きな味方が加わりました。NHK大河ドラマ「利家とまつ」加賀百万石物語です。唐沢寿明、松嶋菜々子をはじめとする豪華キャストの起用とあって、視聴率は歴代2位(1位は秀吉)を記録、地元の期待は高まるばかりです。

さらに3月からは、金沢城公園を会場に、来年1月まで、加賀百万石博覧会が開催されます。復元なった菱櫓、五十間長屋、橋爪門櫓は、明治以降の城郭建築では最大級のものであり、百年後の国宝と言われております。経済学部同窓会の皆様には、今年は、是非とも金沢にお越しいただくことを期待しております。前田利家金沢入城以来400年に及ぶ伝統文化、伝統芸能、食文化は必ず満足いただけると思っております。今後は「ふるさと教育」をさらに発展させ、日本の歴史、文化、伝統を学ぶ方向に進むことが、大切であると考えております。世界がグローバル化するなかで、日本人としてのアイデンティティを発揮しつつ、活躍する唯一の方策であると確信しております。

3月31日深夜、関内駅近くの中田宏横浜市長選挙事務所は異様な興奮の渦に包まれた。現職との大接戦を制した中田宏兄(1989.3経済学科卒。経済学部同窓会常任幹事)が事務所に着くやいなや、共に汗し戦った大勢のボランティアの方々の心から自然に沸き上がる万歳!万歳!ナカダ!ナカダ!の大合唱となった。中田兄を応援した同窓会会員達も、今回の選挙ばかりは絶対に落としてならないと必死に応援した甲斐が、実感として身の内から沸き上がるのを覚えた。4月8日 3,000人が迎えた初登壇で「期待に背くこと無くあらゆる努力をする。謙虚に勇気を持って市政運営をする」と力強く第一声。



4月8日 3,000人も市民や職員に迎えられる
中田 宏 横浜市長

INFORMATION

- ◆2001.11.30 第4回常任幹事会 10名
- ◆2001.12.5 平成13年度幹事会 56名
6:00pm～幹事会 青学会館ミルトス
学年幹事会、又は学年会議の開催推進方を確認。
- 6:50pm～講演会 青学会館ミルトス
講師：本間照光 経済学部教授
「生命・幸福追求と社会保障」
- 7:40pm～懇親会 青学会館ナルド
- ◆2001.12.17 AOYAMA OIKOS NOMOS第4号発送
- ◆2001.12.20 パソコン導入
会計委員 藤吉邦通兄主宰の事務所
武蔵会計にハード設置。
E-mail開設。
- ◆2002.1.24 第3回役員会 8名
- ◆2002.2.4 第5回常任幹事会 18名
- ◆2002.2.19 AOYAMA OIKOS NOMOS第5号原稿依頼
16名宛て

- ◆2002.3.25 平成14年卒業生 790名 (1・2部合計)
に入会勧誘状を配布
- ◆2002.4.4 AOYAMA OIKOS NOMOS第5号編集会議
役員会 8名
- ◆2002.4.16 第6回常任幹事会 22名
- ◆2002.5.15 AOYAMA OIKOS NOMOS 第5号発行
- ◆2002.5.17 AOYAMA OIKOS NOMOS 第5号発送
- ◆2002.6.11 第7回常任幹事会
- ◆2002.6.22 第4回総会 (第3年度年次総会)
講演会 15:45～17:15
講師：勝部領樹氏
テーマ「日本の実力、表と裏」
- 総会 17:20～18:00
以上、大学4号館 420教室
- 懇親会 18:15～20:00
アイビーホール青学会館
グローリー館 4F「クリノン」

AONサロン

ITの豆知識 本郷 茂 (経済学部教授)

ITの豆知識(2)

ITに関連して、コンピュータ業界で最近の話題や動向はどのようになっているのでしょうか。代表的な雑誌「日経コンピュータ」に「情報技術の過去と未来－1980～90年代の検証から最新トレンドを読む」(2000.1.17)という記事があり、その年代の情報トレンドを作り上げた主な出来事が掲載されていますので、それを紹介しましょう。「1982年：米インテル、マイクロプロセッサ「80286」を発売。1984年：パソコン「IBMPCAT」を発売。1985年：メインフレーム「3090」を発売。1989年：米ロータス・デベロップメント、グループウェア「ロータスノーツ」を発売。スイスのCERN(欧州核物理学研究所)、「WWW」を開発。インターネットの商用サービス開始。1990年：IBM、メインフレーム「システム/390」を発表。日本IBM、パソコンOS「DOS/V」を発表。1992年：米オラクル、リレーショナル・データベース「Oracle7」を発売。1993年：インテル、マイクロプロセッサ「Pentium」を発売。米マイクロソフト、パソコンOS「Windows 3.1」を発売。米イリノイ大学、Webブラウザ「Mosaic」を公開。日本でインターネットの商用サービスが開始。1994年：マイクロソフト、サーバOS「Windows NT 3.5」を発売。米ネットスケープ・コミュニケーションズ、Webブラウザ「Netscape Navigator」を発売。1995年：マイクロソフト、パソコンOS「Windows 95」を発売。米サン・マイクロシステムズ、「Java」を公開。1998年：インターネットの利用者が世界全体で1億人を突破。オープン・ソースのOS「Linux」、企業利用が本格化。1999年：NTTドコモ、携帯電話のiモード・サービスを開始。日本でASP(Application Service Provider、ネットワーク経由で業務アプリケーションの機能を提供するベンダー)事業に参入するベンダーが相次ぐ。」この年譜をみてみると、大きな流れとして、IBM主導からウインテル(Wintel、マイクロソフトのWindowsとIntelの合成語)に、そして、ネットワーク中心の時代に技術革新が加速しています。

ITの豆知識(3)

IT革命と題して、雑誌「日経コンピュータ」に携帯電話が導く「日本型IT革命の将来」(2001.7.30)の記事があります。そのなかで、「ケータイが導く業務革新、誰でも手軽に扱える携帯電話が、情報システムの端末として進化し、企業や個人の活動を大きく変え始めてきた。メールやWebの活用にとどまらず、基幹系システムに直接アクセスしたりできる。iモード携帯電話で注文、座席予約、自販機の在庫データを自動的に収集するなどできる。進化する携帯電話、豊富な機能が業務利用を加速、ビデオ・カメラ(携帯電話を使っていつでもテレビ会議を行うことができる)、GPS(Global Positioning System、携帯電話所有者の居場所に応じた情報を提供できる)、音声文字入力(長い文字列などデータの入力時にボタン操作の手間を軽減できる)、暗号技術(第三者による携帯電話の送受信データの盗聴、改ざんを防ぐことができる)、決済サービス(消費者向け電子商取引の活性化を図ることができる)、指紋認識(第三者による携帯電話の不正利用を防ぐことができる)」が挙げられています。実社会ですでに実現化しているものもあります。これからさらに進むIT革命に備えて、コンピュータ関連に携わるITエンジニアに求められるスキルは、大きく分けて、ITスキル(ハード、OS、ネットワークのほか様々な情報技術に関する知識)、コミュニケーション・スキル(対人、対組織関連の能力、人を説得し、まとめ上げる)、業務スキル(業務や業種の知識、業務プロセスに関するノウハウ)です。日頃から、努力して身に付けていきたいところです。

(本郷茂教授による、この「ITの豆知識(2)」、「(3)」は前号(2001.11.16)の(1)と同時に執筆されたものですが、紙面の都合で連載に致しました)

編集後記

- ▲第1面の本間照光教授の講演要旨はテープ起こしと要約の労を石井信之教授にお願いしました。
- ▲今回は「経済学部同窓会員は今……」として北から南から多くの方にお便り頂きました。今年、大学同窓祭でゴールデンジュビリーを受けられる町田侃兄の「生涯青春「3V」の道を、今を、走り続けています」に感銘。
- ▲第5号編集長、門川光雄(経35)、編集員、西尾隆司(商37)、清水美子(経39)、石井信之(経41)、相川和宏(商44)、松原優子(経46)、本郷茂(経47)、梅田澄子(経48)、磯部守孝(経53)、相原一浩(経58)、花岡雅夫(経H7)。

青山学院大学経済学部同窓会会報 第5号

2002年5月15日発行

発行者 榎本 弘

発行所 青山学院大学経済学部同窓会

(青山学院大学経済学部・石井信之研究室内)

〒150-8366東京都渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-8111 (内線12817)

<aogaku-kei.dosoukai@jcom.home.ne.jp>

皆様からの情報やご投稿は下記私書箱へ!

〒150-8691渋谷郵便局 私書箱145号